

中間評価報告書

総合理工学研究機構運営・評価委員会 平成28年10月19日(水)

研究課題	雪崩発生条件の解明と観測機器の開発	
研究期間	平成27年度～29年度	
	評価項目	平均点
1	研究の進捗状況	2.8
2	研究継続の必要性	3.8
3	期待される研究成果	3.0
	総合評点	3.2
<p>雪崩が多発する本県において、日本海側とは異なる特有の発生条件、メカニズムを解明することは、防災上の視点から社会的役割を担う重要な研究として位置づけられ、継続する意義は高い。雪崩の予兆および発生を検知を、防災にどのように活用するかを、より具体的に明らかにしていくことが求められる。</p>		